

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成29年2月23日)

項目	ページ
1 ベンチャー企業等評価による企業立地支援について 【立地戦略課】	1
2 平成28年度鳥取県ビジネスプランコンテストの表彰等について 【産業振興課】	2
3 平成28年度鳥取県経営革新大賞の表彰について 【企業支援課】	3
4 鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト「データ活用人材育成事業」の開始について 【労働政策課】	4

商工労働部

0  
0

0

# ベンチャー企業等評価による企業立地支援について

平成29年2月23日  
立地戦略課

カニ殻を原材料としたキチンナノファイバーの研究開発、製造を行う株式会社マリナノファイバーの事業計画について、ベンチャー企業等評価に係る会議において評価を行ったところ、企業立地等事業に係る事業計画が適当と判断されましたので、今後、企業立地事業の認定に関する手続きを進めます。

## 1 企業概要

- (1) 名称：株式会社マリナノファイバー
- (2) 所在地：鳥取市湖山町南4丁目101 鳥取大学インキュベーション室
- (3) 代表者：代表取締役社長 伊福 伸介
- (4) 設立年月：平成28年4月／資本金：9,000万円

## 2 事業計画の概要

- (1) 事業計画：化粧品、加工食品、医薬品等の企業とキチンナノファイバーを活用した商品化の研究開発を行うとともに、境港のキチンキトサンメーカーから仕入れたキチン粉末を活用したキチンナノファイバーの製造事業を展開する。
- (2) 立地場所：鳥取市千代水二丁目88番地
- (3) 事業費：約1.1億円〔第一次計画：約5千万円〕
- (4) 雇用人数：7名程度（正規）〔第一次計画：5名程度（正規）及びパート数名〕
- (5) 操業時期：平成29年4月
- (6) 売上目標：5年後に3億円

## 3 ベンチャー企業等評価に係る会議

- (1) 開催日：平成28年11月21日（月）午後3時～4時30分
- (2) 委員等：
  - ①評価委員（3名）  
林副知事（チーム長）、鳥取県産業技術センター村江理事長、鳥取県産業振興機構中山理事長
  - ②外部専門家（2名） ※技術・市場評価等への意見を依頼
    - ・バイオ分野：小梅川純一（㈱バイオフロンティアパートナーズ 技術顧問）
    - ・経営分野：穂田誠一郎（鳥取県中小企業診断士協会 会長）
- (3) ベンチャー企業等評価の対象とした理由  
とっとり大学発・産学連携ファンドから投資を受けて会社を設立した（株）マリナノファイバーが、カニ殻由来の乾燥キチン粉末から極細のキチンナノファイバーを製造する事業に取り組もうとするものであり、その開発製造体制やマーケティング・販路開拓戦略などの事業継続性について専門家の意見を伺うことが適当であると判断したため。
- (4) 主な意見
  - ・鳥取県の地域性に合致した独創性の高い技術開発であり、化粧品、医薬品、食品など幅広い分野で期待できる取組である。
  - ・最終的には自ら直接消費者に売っていきえるような商品化を目指すべき。
  - ・確実な原料調達先の確保、コスト管理の徹底、積極的な販路開拓等について助言的意見あり。

## 平成28年度鳥取県ビジネスプランコンテストの表彰等について

平成29年2月23日

産業振興課

平成28年度鳥取県ビジネスプランコンテストの総合部門、起業女子部門、学生部門の大賞、奨励賞等の各賞の表彰を行い、併せて、第一線で活躍する起業家による「地域の未来に繋がる起業」についてフォーラムを開催しました。

- 1 開催日時 平成29年1月26日(木) 午後1時30分～5時10分
- 2 場所 とりぎん文化会館 第1会議室
- 3 来場者 ビジネスプランコンテスト参加者、県内企業、起業家、金融機関、支援団体等 約150人
- 4 鳥取県ビジネスプランコンテスト受賞者

### (1) 総合部門

区分	受賞者	受賞テーマ
鳥取県ビジネスプランコンテスト大賞	(株) マリンナノファイバー (鳥取市) 代表取締役 伊福 伸介	カニ殻由来の機能性新素材「キチンナノファイバー」による地域産業の活性化事業
ごうぎん賞 (協賛企業特別表彰)	ブリリアントアソシエイツ(株) (鳥取市) 代表取締役 福嶋 登美子	元気な鳥取！ピンクで拓げるローカル〜グローバルへ「ピンク色をテーマに地域活性化ビジネスモデル」の展開
とりぎん賞 (協賛企業特別表彰)	(有) トータルフィット (鳥取市) 取締役 吉田 智	より安全性が高く信頼性の高い「墜落しにくいドローン」の開発

### (2) 起業女子部門

各賞	受賞者	テーマ
とっとり起業女子大賞	あすなる手芸店 (岩美町) 代表 小畑 明日香	国産材を使ったクラフトパーツの製造販売による地域の森林資源活用と林業の活性化
とっとり起業女子奨励賞	N. K. C ナーシングコアコーポレーション 合同会社 (米子市) 代表社員 神戸 貴子	「わたしの看護婦さん」～潜在看護師らを活用したワンランク上の介護・保育事業の展開～

### (3) 学生部門

各賞	受賞者	テーマ
学生ビジネスアイデア大賞	鳥取大学大学院農学研究科 森本 萌	植物の販売、ワークショップの運営「タニクで繋がる人達のワータニクプロジェクト」
学生ビジネスアイデア奨励賞	大阪経済大学社会学部 秋元 菜 外3名	日本型ホスピタリティ旅行支援サービス「MOM」の提案

※その他、各部門の最終審査に残ったファイナリスト24グループ、29名にファイナリスト認定証を授与。

## 5 とっとり起業フォーラムの概要

- (1) フリートーク：「地方での起業とは？鳥取県の未来を切り拓く起業!!」

Team KATSUYA 代表 勝屋 久 氏、HOM MA, Inc. CEO 本間 毅 氏

- (2) 特別講演：「スポーツビジネスで新たな挑戦！アスリートから起業家へ」

(株)侍 代表取締役 為末 大 氏、(株)ヴェッド・パートナーズ 取締役会長 海老根 智仁 氏

※来場者アンケート結果

大変よかった：64%、よかった：30%、普通：6%、悪かった：0%、大変悪かった：0%

## 平成28年度鳥取県経営革新大賞の表彰について

平成29年2月23日  
企業支援課

本県では、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の目標を達成した模範となる県内中小企業を表彰しています。このたび今年度の受賞企業の表彰式を開催しました。

- (1) 趣旨 経営革新計画法承認企業に対し計画達成の動機付けを行うとともに、計画未策定企業の計画策定に向けた取組に繋げる。(H18創設)
- (2) 日時 平成29年2月16日(木)午後2時～3時
- (3) 会場 鳥取県立図書館 大研修室
- (4) 対象 H27.4.1～H28.3.31に経営革新計画が終了した28社のうち、基準となる経営目標を達成した企業の中から外部有識者による審査委員会を経て選定。

	表彰区分	受賞企業	取り組みの概要
知事表彰	経営革新大賞 (グランプリ)	株錦海化成 〔境港市〕	生魚のアラを主原料にしながら、生魚の一匹ものを原料とする輸入品に負けない高品質な飼料用魚粉の開発と生産体制構築に取組み、従来輸入品を使用していた養殖業界の販路開拓に成功した。
	技術革新賞	株ウメカワ 〔大山町〕	自社で培ってきた加工技術も活かしながら、リフター(高所作業車、収納ラック、車昇降機等)用の油圧ユニット等を開発。リーマンショック後に大きく落ち込んだ業績を向上させた。
	市場開拓賞	株ニシウラ 〔鳥取市〕	建設業から福祉分野に進出後、医療福祉現場からの意見等をもとに車椅子用の補助具「ヨッコイショシリーズ」(テーブル、クッション等)を開発。福祉器具業界で販路開拓に成功した。
	地域貢献賞	アイコンヤマト(株) 〔鳥取市〕	自社開発した地理情報システムと全方位ムービー画像撮影システムを組み合わせた、観光・道路分野等で使えるシステムの開発に成功。社内に「待ちから攻め」の姿勢が生まれ業績が向上。
	企画デザイン賞	株水リゾート 〔伯耆町〕	富裕層をメインターゲットとした本格的オーベルジュ(宿泊可能なレストラン)を展開。ウェディング事業で培ったおもてなしの心も活かしながら、上質なサービスを提供することで業績向上。
特別表彰	中国経済産業局長賞	株錦海化成 〔境港市〕	※知事表彰(グランプリ)と同じ。
	TKC中国会 鳥取県支部長賞	日中東北物産有) 〔鳥取市〕	低価格・高品質・短納期を追及した災害用商品(コンテナハウス、ポータブルトイレ等)を開発し、販売展開した。
	鳥取県中小企業診断 士協会会長賞	井上鋼材(株) 〔米子市〕	短納期の受注等に対応する必要がある顧客に対し、必要な鋼材を必要な分だけ切断し短納期で提供する仕組みを構築した。
	鳥取県産業振興機構 理事長賞	株ニシウラ 〔鳥取市〕	※知事表彰(市場開拓賞)と同じ。

株nido(ニド)(鳥取市)が制作した、智頭杉とステンレスによる透かし模様を組み合わせたオリジナル盾。透かし模様のモチーフは、次代へと羽ばたく「鳥の巣」



# 鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト「データ活用人材育成事業」の開始について

平成29年2月23日  
雇用人材局労働政策課

鳥取県が、成長3分野（医療機器・自動車・航空機）及びICT(注1)・IoT(注2)分野で求められる高度人材の育成に向けて実施する「鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト」では、全国の求職者を対象として、IoTやビッグデータ等を活用できる人材の育成、鳥取県へのIJUターン促進による人材の確保を目的とする「データ活用人材育成事業」（愛称：TORIoT（トリオット））を開始しました。

また、この事業開始にあたり、受講者募集の一環として、報道機関向け事業発表会を開催しました。

## 1 「データ活用人材育成事業」の概要

名称	鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト「データ活用人材育成事業」 (愛称：TORIoT（トリオット）※TOTTORIとIoTを合わせた造語)			
主体	鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会（県からのプロジェクト受託者） ※当協議会との契約により、株式会社LASSIC（本社：鳥取市、業種：ICT）が「データ活用人材育成事業」の運営を行う。			
期間	平成29年2月1日～平成31年2月28日（平成28年度～平成30年度）			
内容	○eラーニング(注3)による基礎から先端技術に関する知識習得及び問題演習 ⇒ 情報システムの基礎（コンピュータの概説等）、セキュリティのポイント など ○県内企業等の現場課題をテーマに、県内でのアイデアソン(注4)開催によるグループ学習 ⇒ 第1回目は「鳥取医療センターの課題解決」をテーマに、平成29年3月に開催予定 ○eラーニングによる実践的なプロジェクト演習 ⇒ アイデアソンで得た課題解決策のプロジェクト形式による開発・構築、実証実験 ※eラーニングサイトアドレス <a href="https://www.toriot.net/">https://www.toriot.net/</a>			
特徴	○居住地域や時間に制約を受けずに学習できるeラーニングにより、無料で講座を提供する。 ○eラーニングのシステム構築や講座運営等について、インダストリアル4.0(注5)をリードするSAP社（本社：ドイツ）の日本法人であるSAPジャパン株式会社、世界初のIoT検定を行うIoT検定制度委員会の協力を得て、実践的なカリキュラムを提供する。 ○鳥取県へのIJUターン情報、県内企業に関する情報等を積極的に発信する。			
目標	(H28年度)	(H29年度)	(H30年度)	(合計)
受講者数	200人	400人	400人	1,000人
就職者数	10人	40人	40人	90人
予算	(H28年度)	(H29年度)	(H30年度構想)	(合計) ※毎年度予算措置
予算額	35,804千円	44,485千円	39,340千円	119,629千円

(注1)Information and Communication Technology の略語。情報・通信に関連する技術の総称。

(注2)Internet of Things の略語。家電・自動車・機械器具など、あらゆるものがインターネットに繋がること。

(注3)パソコン等を用いて、インターネットを通じて行う学習・訓練。

(注4)特定のテーマについて、アイデアを出し合い、まとめていくイベント。アイデアとマラソンを合わせた造語。

(注5)ドイツ政府が、IoTによる第4次産業革命として、製造業の競争力強化を目指して起草した構想。

## 2 事業発表会の概要

### (1) 日時

平成29年1月25日（水） 午後3時30分～4時

### (2) 場所

鳥取県庁 特別会議室

### (3) 出席者

株式会社LASSIC 代表取締役社長 若山 幸司

SAPジャパン株式会社 インダストリークラウド事業統括本部 ディレクター 松尾 康男

IoT検定制度委員会 事務局長 近森 満

鳥取県商工労働部長（鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会会長） 岡村 整諮

